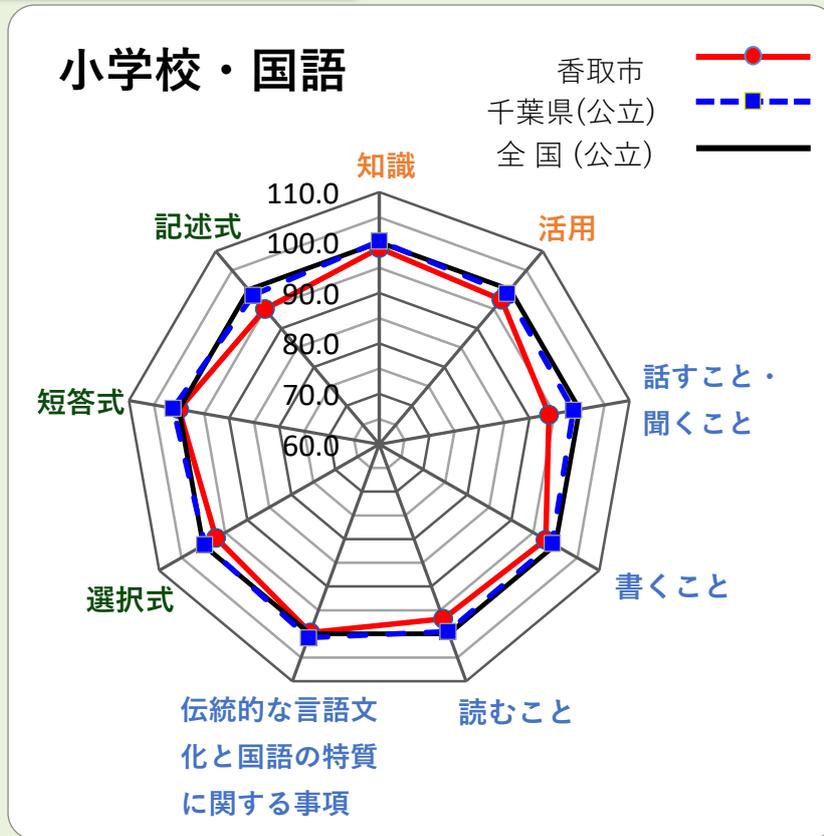


(2) 教科についての傾向と課題

※全国（公立）の平均正答率を100として、千葉県（公立）、香取市の平均正答率を相対的に表したグラフです。

小学校の傾向と課題



「知識」は全国平均と同程度で、「活用」は全国平均を下回っています。

領域別では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は全国平均と同程度でした。「話すこと・聞くこと」は全国平均を下回り、課題が見られます。

問題形式別では、短答式が全国平均と同程度で、記述式に課題が見られました。

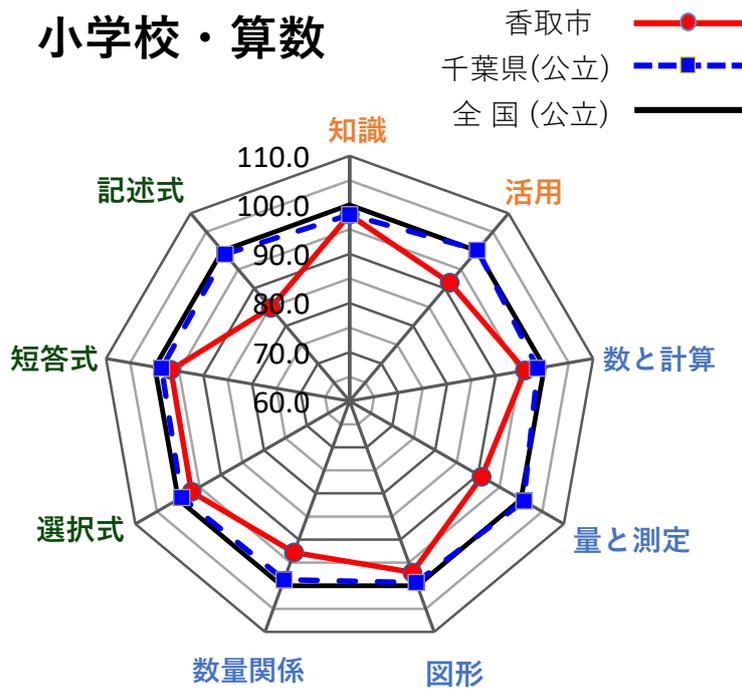
課題が見られた主な問題

- 国語A 1 話し合ったことを報告する場面で、1人の報告内容の説明として適切なものを選択する。香取市 60.3% (全国-8.9)
- 国語A 3 2人の登場人物が学校新聞を書くために、それぞれ【資料】のどの段落を中心に読めばよいか選択する。香取市 66.7% (全国-7.7)
- 国語B 3 二 「きつねの写真」という【物語の一部】と、それを読んで各々が考えたことを話し合う【話し合いの様子の一部】の2つの資料を読んで、波線部の発言の意図として適切なものを選択する。香取市 22.9% (全国-5.1)

力を入れたい学習

- 司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの考えの共通点や相違点を整理する。
- 目的に応じて中心となる語や文を捉え、必要な情報を見付けて読む。
- 物語を読んで感想を伝え合い、共通点や相違点を明らかにしながら交流し、自分の考えを広げたり深めたりする。

小学校・算数



「知識」は全国平均と同程度ですが、「活用」は下回り、思考力、表現力、判断力は課題となっています。

領域別では、すべての領域で全国平均を下回っています。「数量関係」は低下傾向にあり、「量と測定」は特に課題が見られました。

問題形式別では、記述式が課題となっています。

課題が見られた主な問題

- 算数A 2 (3) $6 + 0.5 \times 2$ を計算する。 香取市 53.5% (全国-13.1)
- 算数A 3 8 と 12 の最小公倍数を求める。 香取市 81.7% (全国-4.5)
- 算数B 3 (1) 5 回の実験結果から、正しく計測できなかった 2 回目の記録を除き、平均を求める際の適切な式を選択する。 香取市 61.0% (全国-6.9)
- 算数B 3 (2) 測定値が記載された表や仮の平均の求め方が示された資料を活用して、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を、言葉や式を用いて記述する。 香取市 15.8% (全国-10.3)

力を入れたい学習

- 計算の順序についてのきまりを、具体的な場面と式の表現を結びつけて理解できるようにする。
- 具体的な問題場面と関連付けながら最小公倍数の意味を理解できるようにする。例えば、長方形を並べて最小の正方形をつくる活動などを設定する。
- 測定値の平均を求める式と日常生活の場面を関連付けて解釈したり、グラフなどを用いて視覚的に捉えたりすることで、測定値の平均を求める式の意味を理解できるようにする。
- 表の中に明らかに飛び離れた数値がある場合に、平均をどのように求めるか話し合ったり、飛び離れた数値を除外する理由を説明したりする活動などを設定し、場面や状況に応じて数理的な処理ができるようにする。